



2021年3月期 第2四半期決算説明資料

サンコーテクノ株式会社
(証券コード：3435)

2020年11月27日



➤ 2021年3月期第2四半期実績報告

➤ 2021年3月期通期見通し

2021年3月期第2四半期（累計）実績



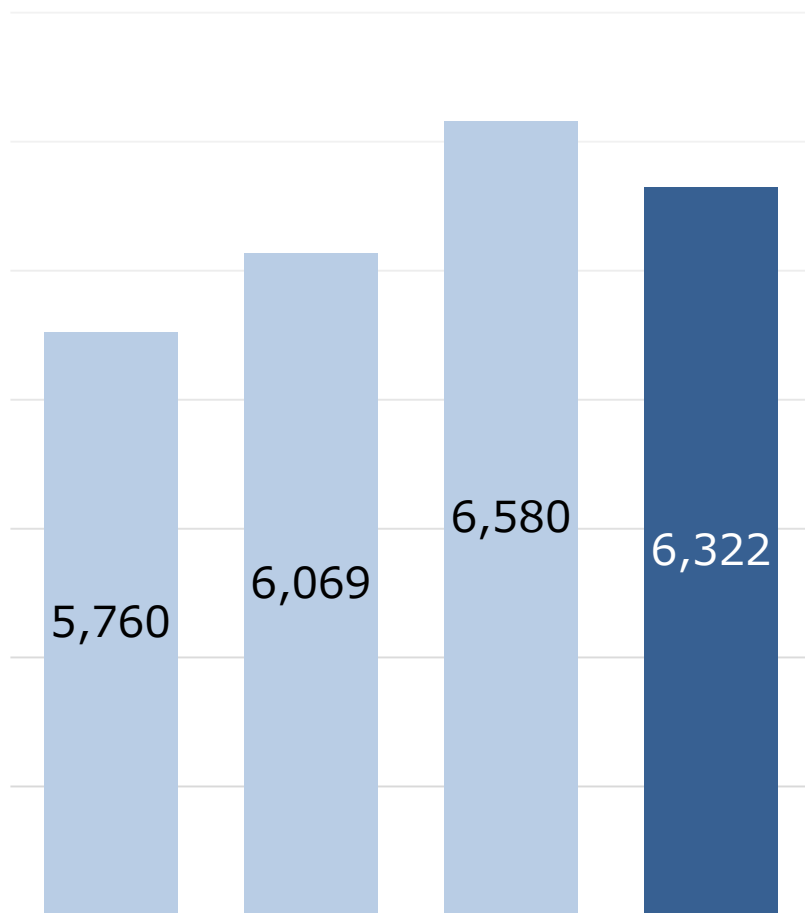
	2020年3月期 第2Q累計実績	2021年3月期 第2Q累計実績	前年同期比	
売上高	8,734	8,545	▲2.2%	▲ 189
売上原価	6,092	5,995	▲1.6%	▲ 97
販管費	2,072	1,887	▲8.9%	▲ 185
営業利益	569	662	+16.4%	+93
同利益率	6.5%	7.8%	-	+1.2 p
経常利益	574	663	+15.4%	+88
親会社株主に帰属する 当期純利益	365	450	+23.2%	+84

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、あと施工アンカー等の主力事業の売上減少、海外売上高の大幅減少を余儀なくされた
- 移動を伴う営業活動の抑制等が販管費の減少に寄与、2019年4月グループ化の成光産業(株)の粗利益増により増益



売上高推移（第2四半期累計）

(百万円)



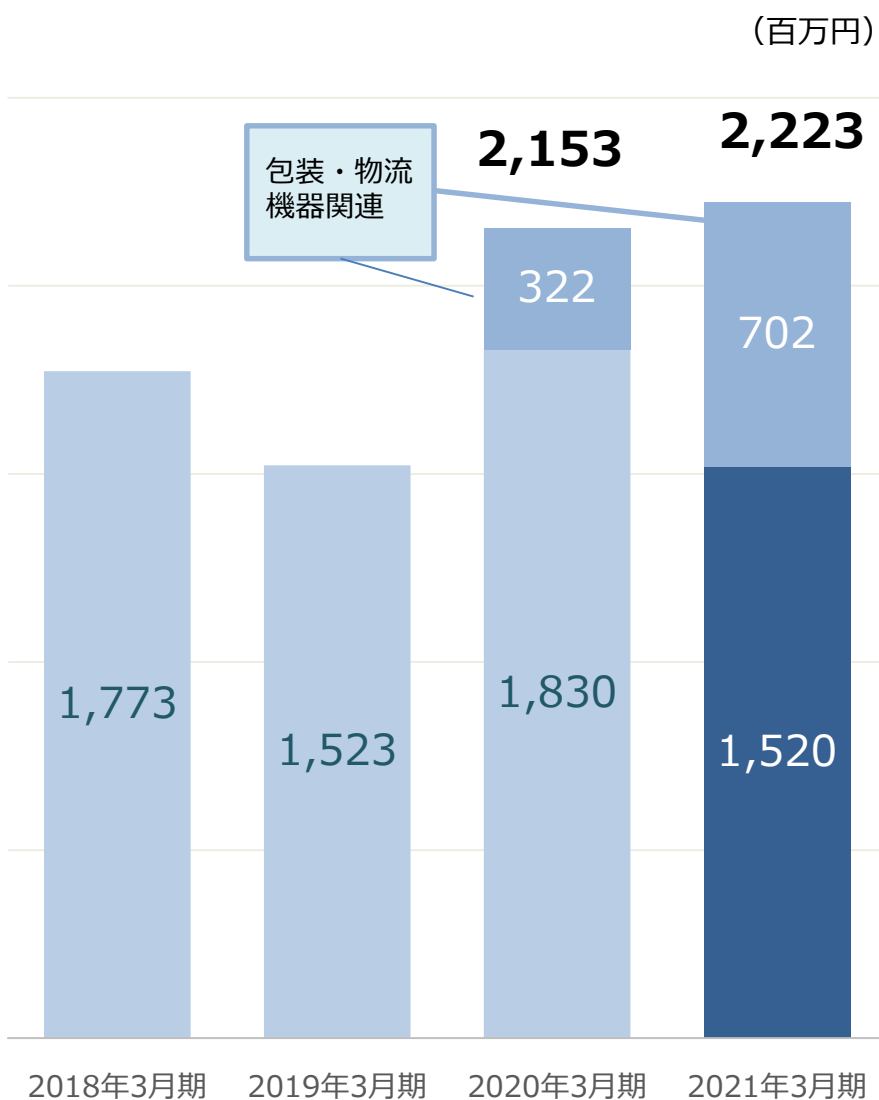
2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期

	実績(百万円)	前年同期比
売上高	6,322	▲3.9%
セグメント利益	766	▲2.2%

- あと施工アンカー（金属系・接着系）**
 各種設備工事等の需要は民間・公共工事とともに前年を下回る水準で推移し、主力製品のあと施工アンカーの販売は減少
- 各種工事関連**
 工事の一時中断、工期のずれ込みもあるがインフラ関連を中心に完成工事高が増加



売上高推移（第2四半期累計）



	実績(百万円)	前年同期比
売上高	2,223	+3.2%
セグメント利益	292	+50.0%

- 電動油圧工具関連**
 国内・海外ともに前年を下回る水準で推移
- 電子基板、FRPシート関連およびアルコール検知器関連**
 電子基板、FRPシートは販売減
 アルコール検知器関連も新規販売は減少
 メンテナンスは微減
- 包装・物流機器関連**
 成光産業グループの連結効果（売上寄与：前期3カ月、当期6カ月）に大型機械の販売が加わり、売上大幅増

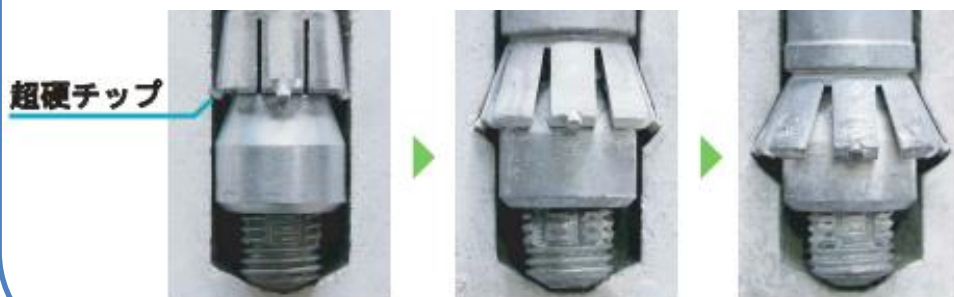
9月：プレスリリース

「メタルアンダーカットアンカー」を10月より販売開始

自穿孔による精確な拡底・簡単施工管理・抜取りも可能



拡底：セルフアンダーカット方式で精確な拡底形成



抜取：専用ツールで抜取り可能



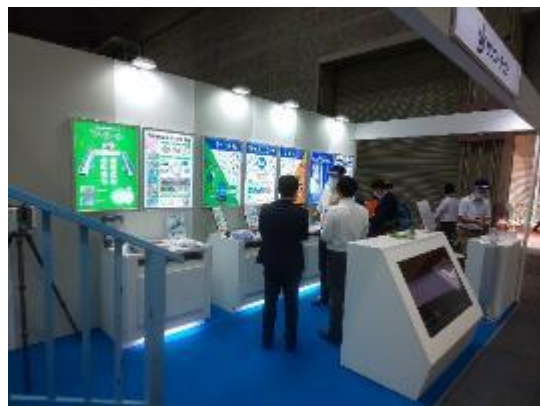
アンカーの使用後に
専用ツールで抜取りが可能

4月：マルチスクリュー Tタイプ 国土交通省・新技術情報提供システム（NETIS）に登録



仮囲いや簡易柵の取付けに
打撃・スクリュー施工が可能

7月：「メンテナンス・レジリエンスOSAKA2020」 ～第12回インフラ検査・維持管理展 出展



マルチスクリュー・
紫外線硬化型FRPシート
「e-シート」を中心に展示



➤ 2021年3月期第2四半期実績報告

➤ 2021年3月期通期見通し



(前年同期比)

売上高	18,000百万円	(▲2.7%)
営業利益	1,170百万円	(▲22.4%)
経常利益	1,190百万円	(▲22.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	800百万円	(▲20.7%)

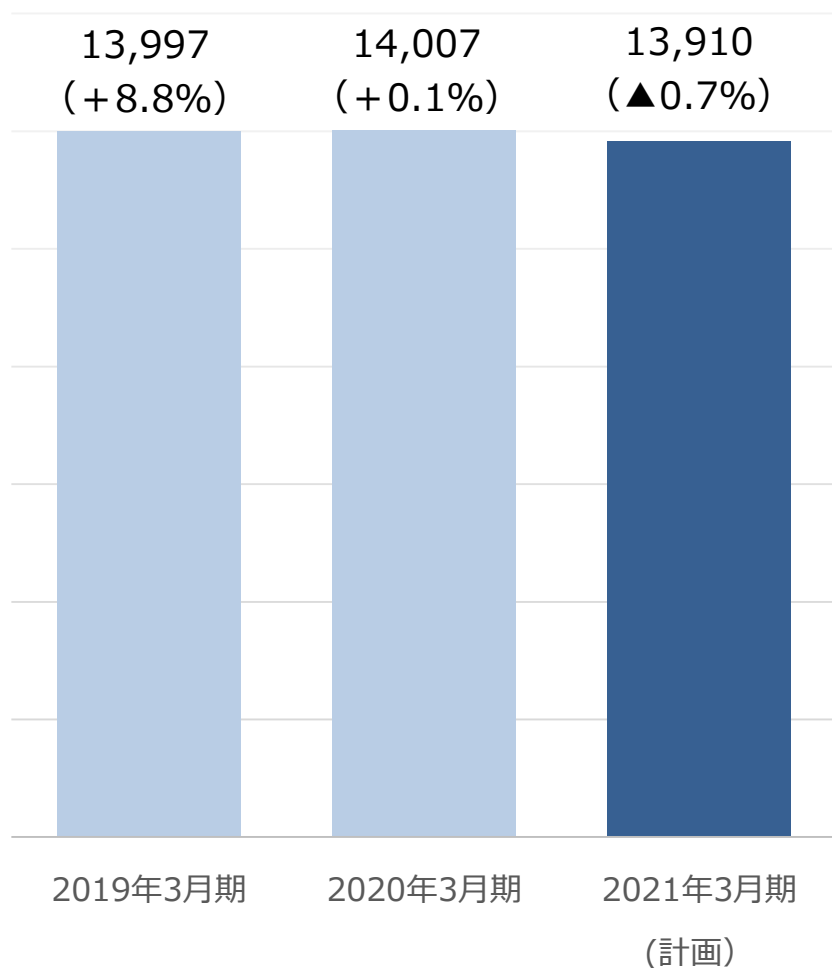
※期初の業績予想 (2020年5月20日公表) から変更しておりません

- 売上高は、新型コロナウイルス感染症の収束長期化が予想され、主力製品の需要への影響が下半期も残る見通し。期初計画達成に向けて一丸となって取り組む
- 利益面は、販管費の抑制により期初計画からの下振れを回避、期初計画を維持



▶ 2021年3月期目標：13,910百万円

売上高推移（百万円）
（前年同期比（％））



■ あと施工アンカー（金属系・接着系）

設備投資抑制の影響で需要減
公共工事、インフラ設備の維持・保全・
補修事業への営業活動に集中

■ 各種工事関連

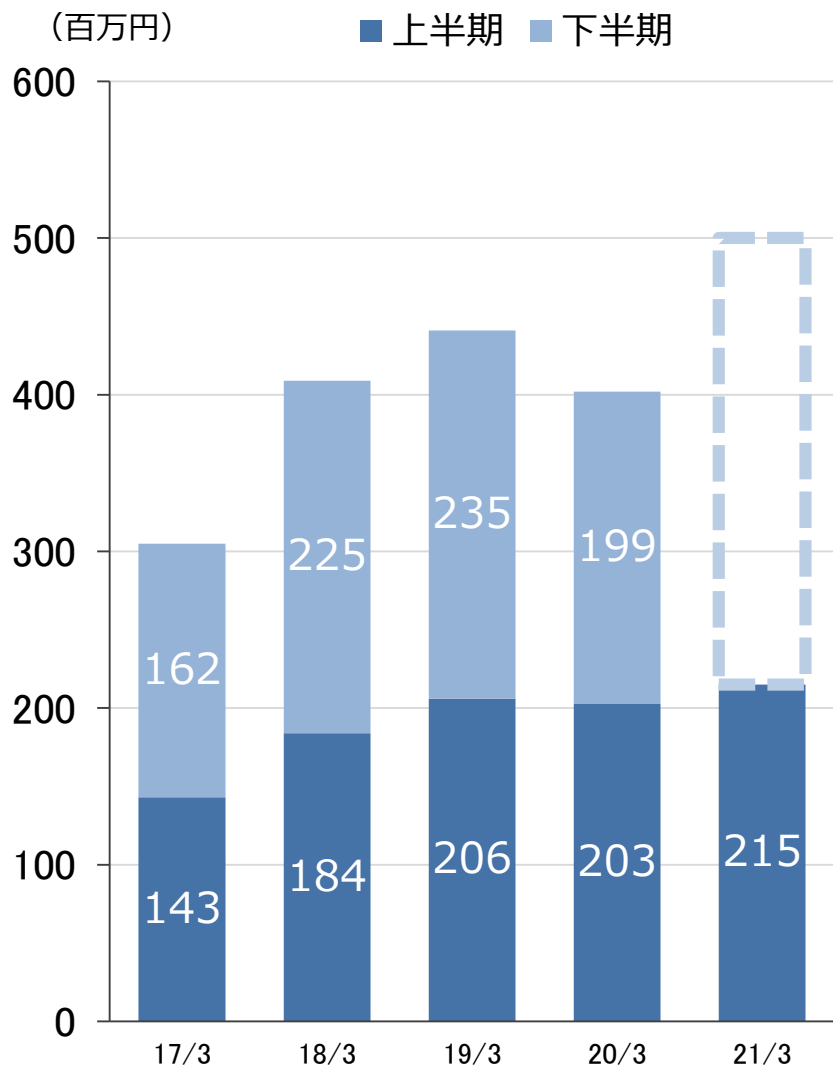
土木関連・インフラ設備工事に注力

土木向け新製品（11月）
サイズミックエコファイラー SE-1300V
容量選択やカードリッジの再利用・分別
廃棄が可能





土木向け製品の売上高推移



土木向け製品における注力製品



メタルセーフアンカー
メタルロックアンカー
サイズミックエコフィラーシリーズ



新製品

メタルアンダーカットアンカー (10月)
アスファルトアンカー (受注生産品)
フェイルセーフアンカー (11月)

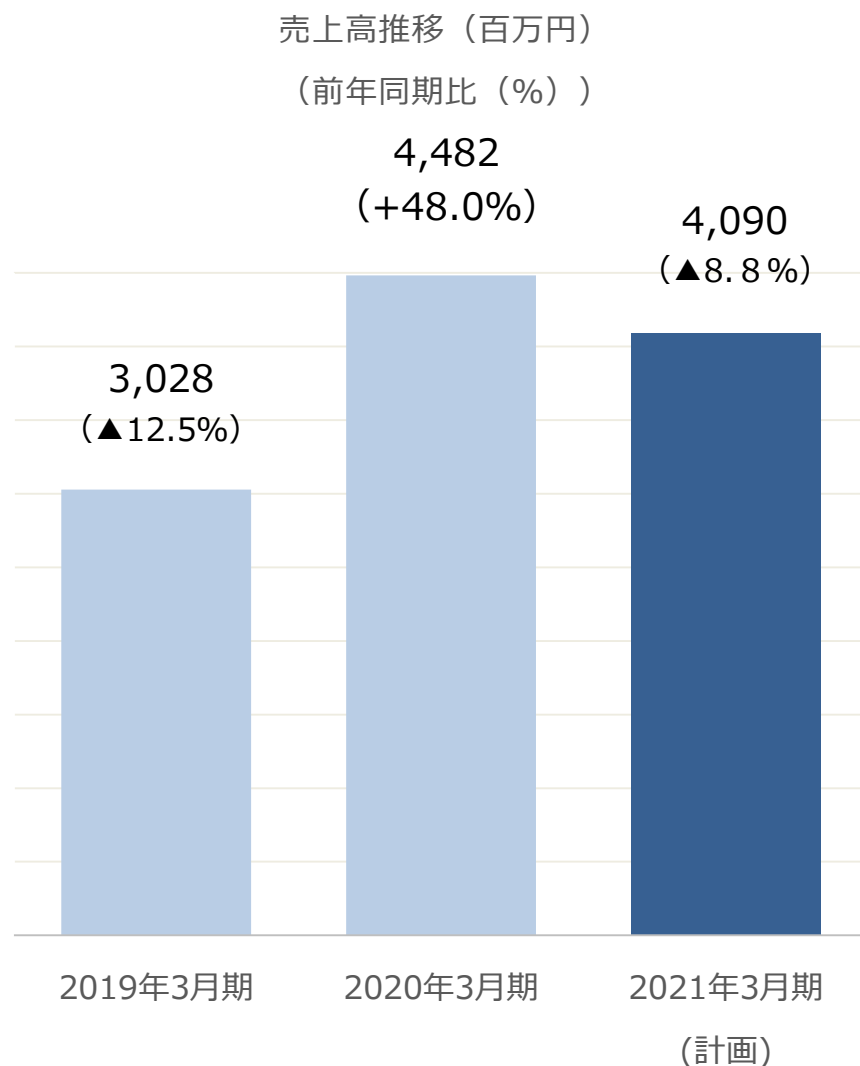


注力製品 + 新製品・バリエーション拡充

土木向け商材の売上高5億円を目指す



▶ 2021年3月期目標：4,090百万円



- 電動油圧工具
国内・海外とも需要減が継続
- アルコール検知器・電子基板関連
アルコール検知器ST-2000販促継続
電子基板関連は売上減を予想
- FRPシート関連
特性を活用した用途開発・拡大
- 包装・物流機器関連
安定した需要を背景に横ばいを維持
当社営業拠点と連携し販売強化

Minipack[®] -Torre 「シュリンクパッカー」 “ミラノ”シリーズ

■ FM-76A EVO型

- ・食料品、化粧品、衛生用品等の
個包装・セット包装等



シュリンクパック（シュリンク包装）

透明の熱収縮性プラスチックフィルムで包んだ商品を加熱して、その形状に密着させる包装

Minipack[®] -Torre（ミニパック）社:イタリア

- 1969年設立。1982年に“Minipack[®]”を商標登録。
- 1976年にCompact Shrinking Machine（ヒートシールと熱風トンネル一体型）を開発。世界の包装業界のベストセラーとなった。



ROBOPAC S.p.A. 「パレットストレッチ包装機」

■ 自走式パレットストレッチ包装機

ROBOT S6

- あらゆる寸法の被包装品の周りを旋回しながら高速ラッピング



ROBOPAC S.p.A. (ロボパック) 社:サンマリノ共和国

- 1982年設立。包装分野で120カ国超で事業を展開するAETNAグループ傘下。
- パレットストレッチ包装機製造における世界的メーカーとして、あらゆるパレット積荷の保護・固定を可能にする装置を開発。

 Signode Denmark ApS 「ストレッチフード包装機」

■ Multi Flex X1

- パレットサイズの自動認識機能付き
- ワンショットで最適サイズの帽子状フィルムが降下し被包装品を5面（天面・側面）包装
- 最大で250パレット/時の高速運転が可能



Signode Denmark ApS（シグノード）社：デンマーク

- 1969年にパレット包装機を開発。その後、1000台以上を納入。
- 独自の技術であらゆる形状の被包装品を高速・5面包装（天面・側面）。
- 2020年9月よりLachenmeierからSignode Denmark ApSに社名変更。

 ILLIG Maschinenbau GmbH & Co.KG 「真空圧空成形機」

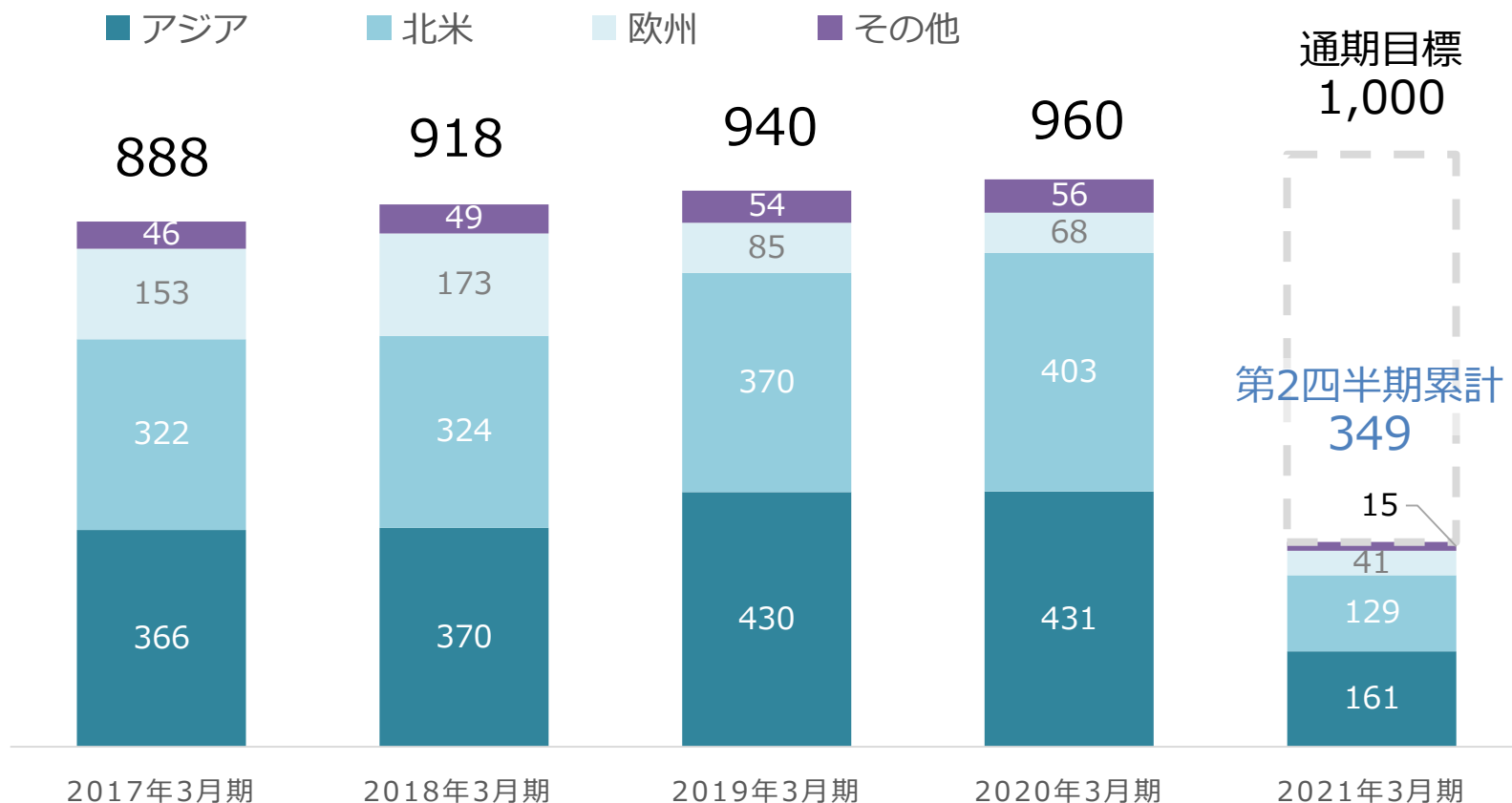
■ RDM 76Kb

- ・シート成形による深絞り容器の生産・省人化による高速運転が可能
- ・バリア機能付加などの高品質容器の生産に最適



ILLIG Maschinenbau GmbH & Co.KG（イリッヒ）社：ドイツ
○1945年設立。同業界世界シェアNO.1、世界80カ国以上への納入実績（日本国内：約100台）。
○ニーズに応じ開発を行い、常に新しい市場を創造（=Pactivity®）。

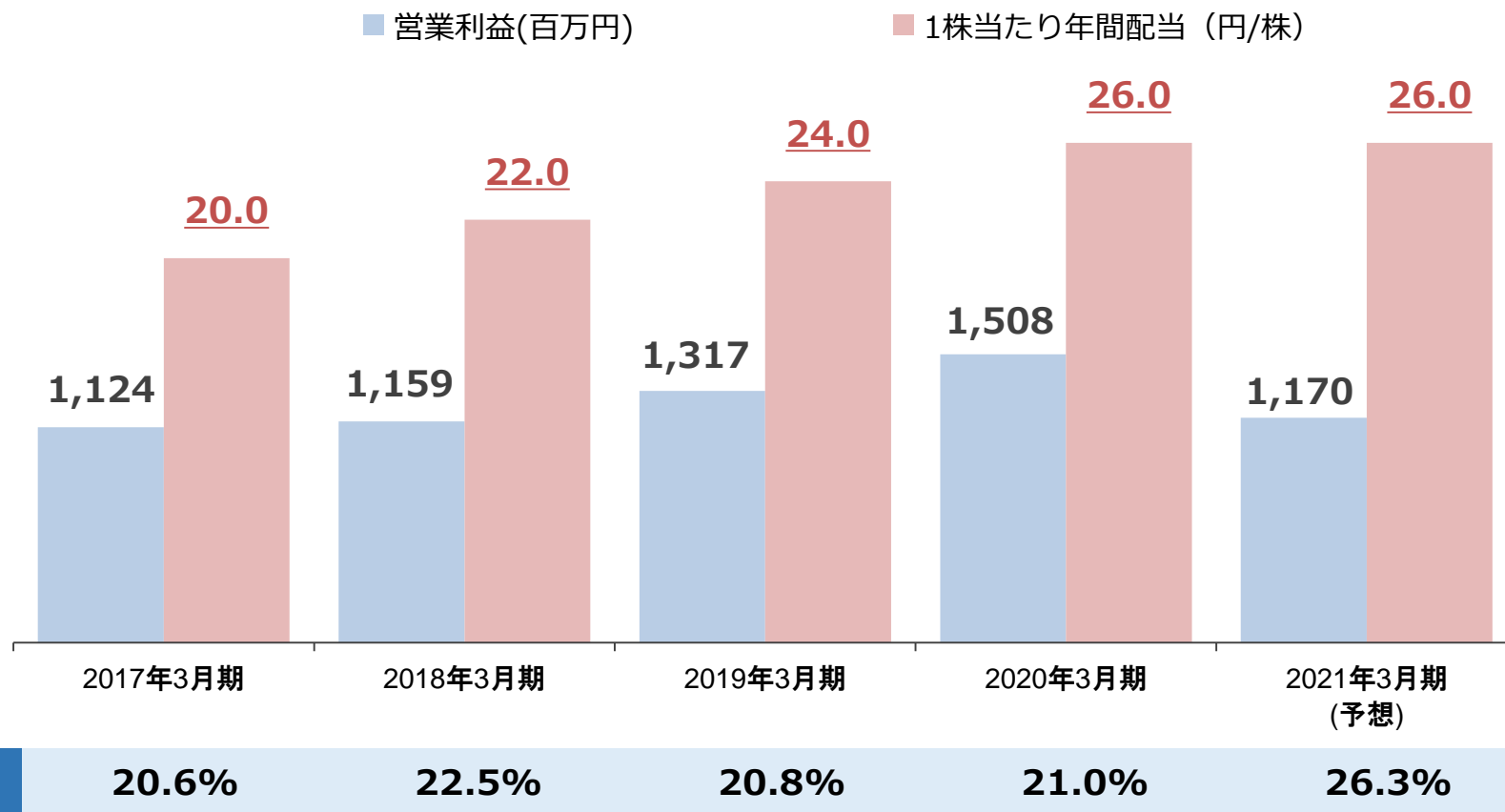
▶ 地域別海外売上高推移 (百万円)



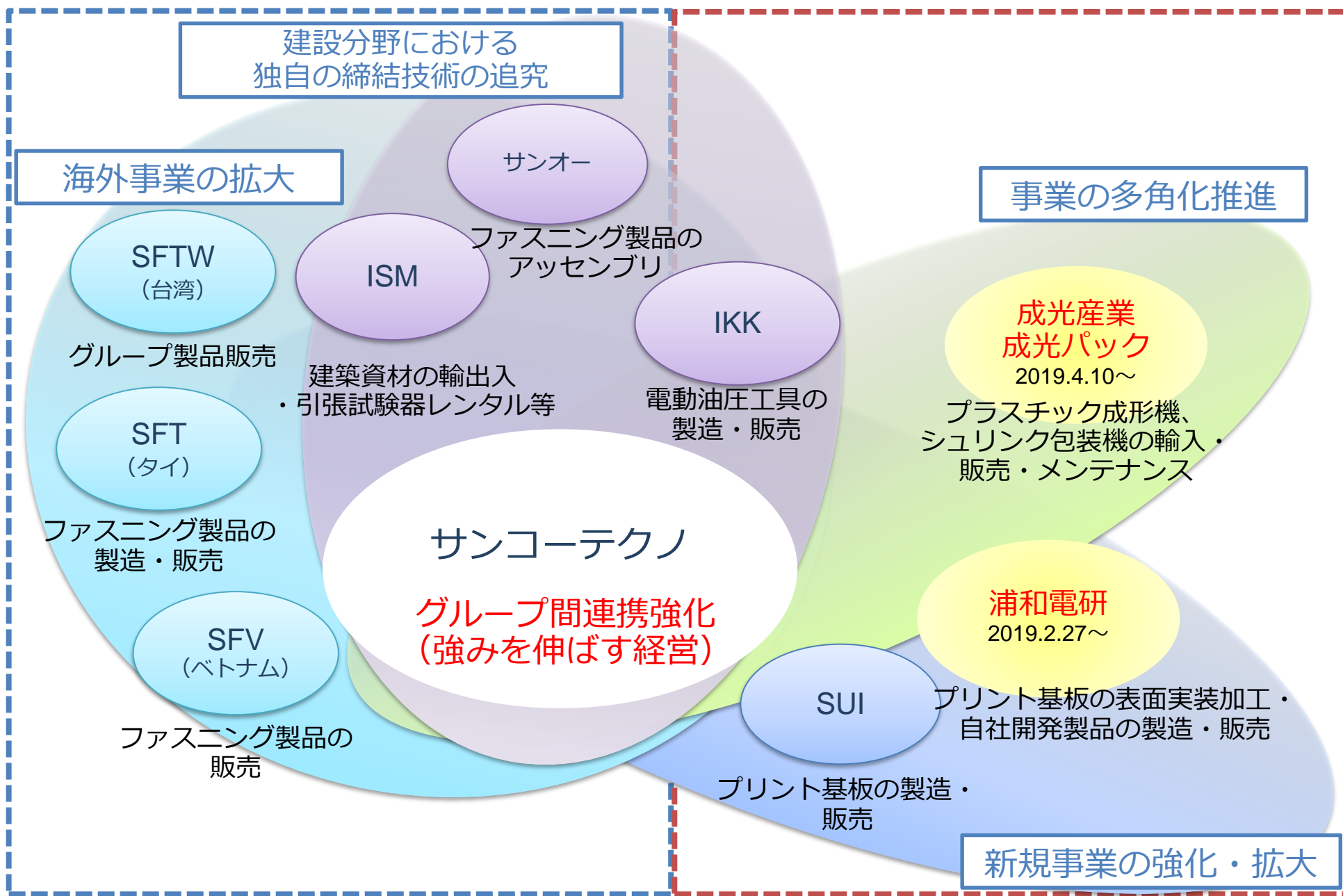
- 引き続き新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動縮小の影響は大きいと想定



新型コロナウイルス感染症拡大および同影響の不透明さを鑑み、
1株当たり26円で据え置く



強みを伸ばす経営・グループ連携強化





ご清聴ありがとうございました

サンコーテクノ株式会社

**中期経営ビジョン・中期戦略
(2015～2020)
および会社概要**



Go for NEXT

S.T.G VISION 2020

私たちは ^{ファスニング}独自の締結システムで、安全・安心を提供する モノづくり集団を追究します

3つの“カ”（パワー）をアップ

チーム人財力

2015年4月～

2015年3月期業績

売上高 : 17,835百万円

営業利益 : 1,511百万円

(売上高営業利益率 : 8.5%)

現場力

～製造力・営業力・開発力～

ブランド力

～メーカーとして魅了する!～

2020年までに、
外部環境に左右されず
安定成長を実現する
基盤・体制を構築

中長期目標

平均売上高成長率 : 5%

売上高営業利益率 : 8%

2021年

中長期

社会的ニーズ、国土強靱化計画関連へのシフトの流れは不変

社会的ニーズの高まり

- 高度経済成長期に整備された各種インフラに幅広く、維持・保全・補修のニーズが拡大
- 建設技能労働者等の人手不足を背景とした、効率化・自動化へのニーズの高まり
- 相次ぐ自然災害を背景に、強度性能・安全性に対するニーズの高まり



国土強靱化計画関連へのシフト

• 新型コロナウイルスの影響による工事中断、遅れの発生

• 都市再開発関連
• 耐震補強工事を含むインフラ補修等

2020年

2021年

中長期



穿孔



施工



強度確認

□ 高付加価値製品へのシフト

□ 市場の創出

コト売りへのシフト

- 適正な在庫確保による安定供給
- 現場営業を通じたスペック・改良開発
- 独自工法の獲得・営業推進
- 土木関連における関係強化

- お客様の課題を解決
「製品」「技術」「サービス」
をバランスよく提供
- 支店営業所の特性にあわせ
お客様視点の提案

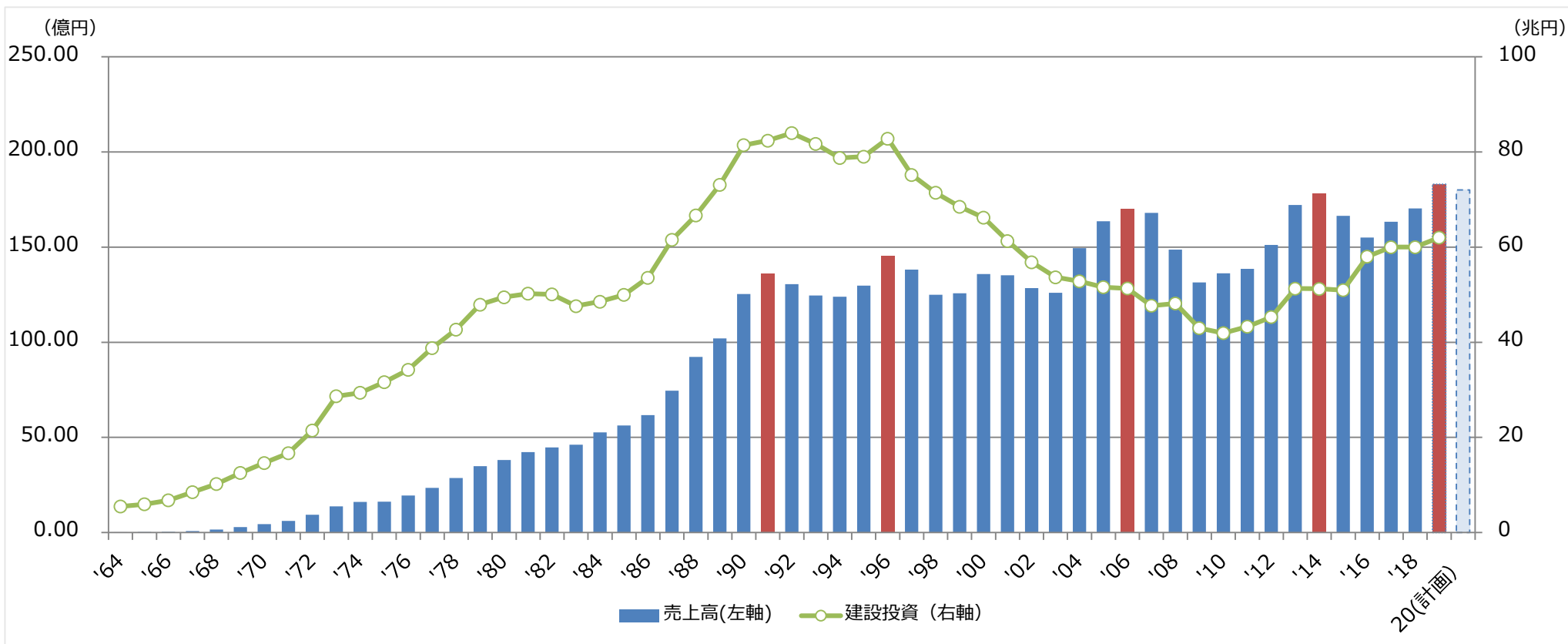
2021年

中長期

当社成長の軌跡



- ・1964年 三幸商事設立
- ・1965年 オールアンカー開発・実用新案登録
- ・1966年 三幸工業設立
- ・1988年 SANKO FASTEM (THAILAND) .LTD (タイ工場)
- ・1988年 三幸商事顧問股份有限公司(台湾) 設立
- ・1993年 西部物流センター開設
- ・1996年 三幸商事・三幸工業合併により
サンコーテクノ誕生
- ・1998年 中央物流センター開設
- ・2002年 ものづくりテクニカルセンター開設
- ・2003年 (株)スイコー子会社化
- ・2004年 (株)I K K子会社化
- ・2005年 ジャスダック証券取引所に株式上場
- ・2006年 アイエスエム・インタナショナル(株)子会社化
- ・2011年 SANKO FASTEM (VIETNAM)LTD.設立
- ・2015年 東証第二部へ市場変更
- ・2018年 技術研究所 創設
- ・2019年 浦和電研(株)子会社化
- ・2019年 成光産業(株)および成光パック(株)子会社化



フェーズ①成長への始動
 ・国内拠点の拡充
 (全国販売網の確立)

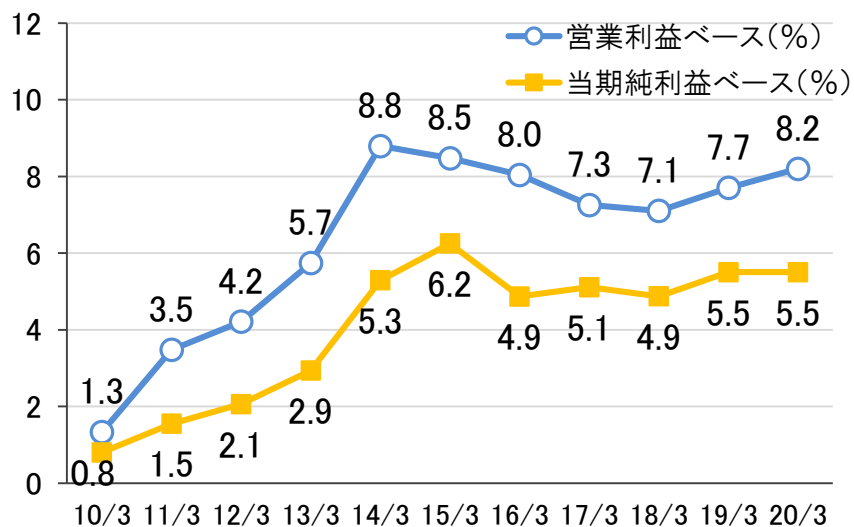
フェーズ②転換期
 ・製造と物流拠点の再構築
 ・工事部門の設立

フェーズ③持続的成長へ
 産学連携の開発体制の構築

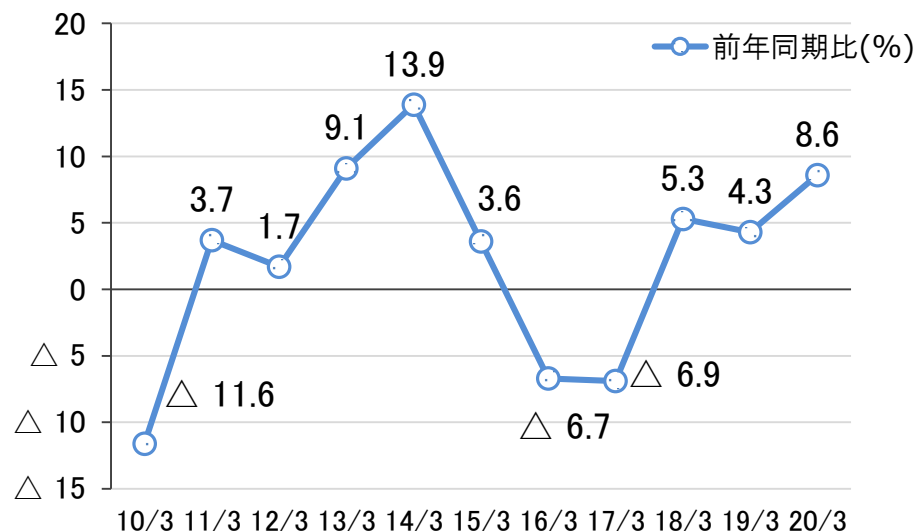
主な経営指標の推移



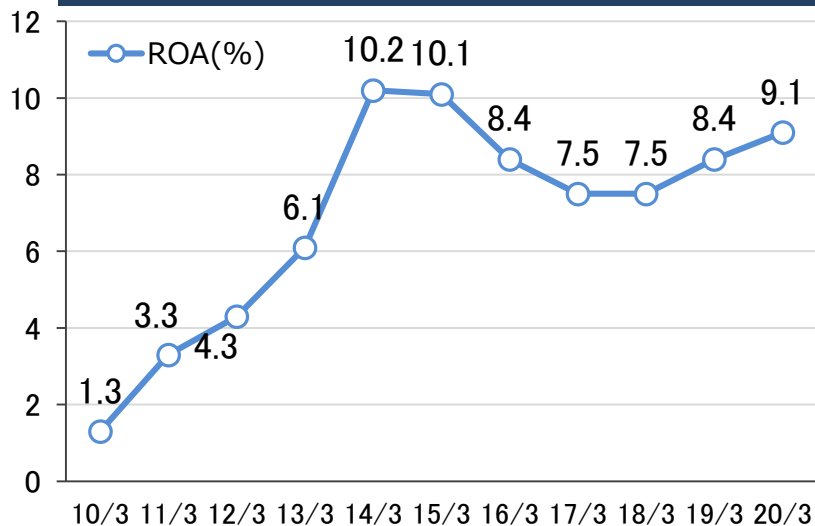
ROS(売上高利益率)



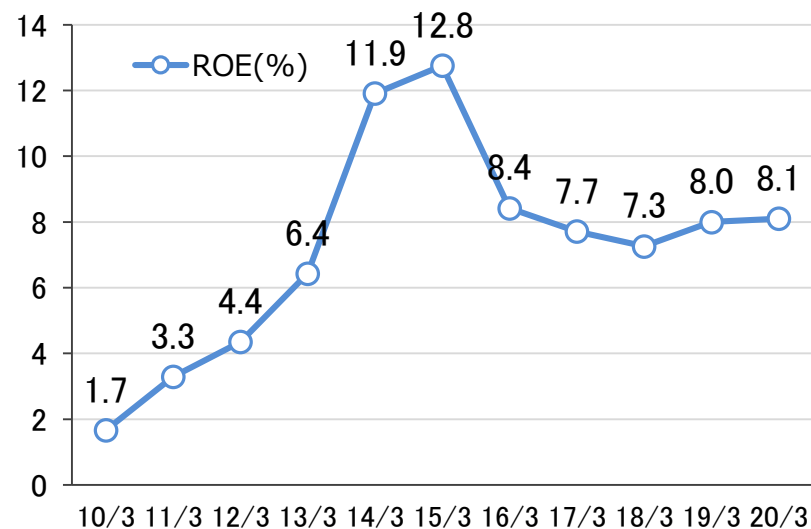
売上高成長率



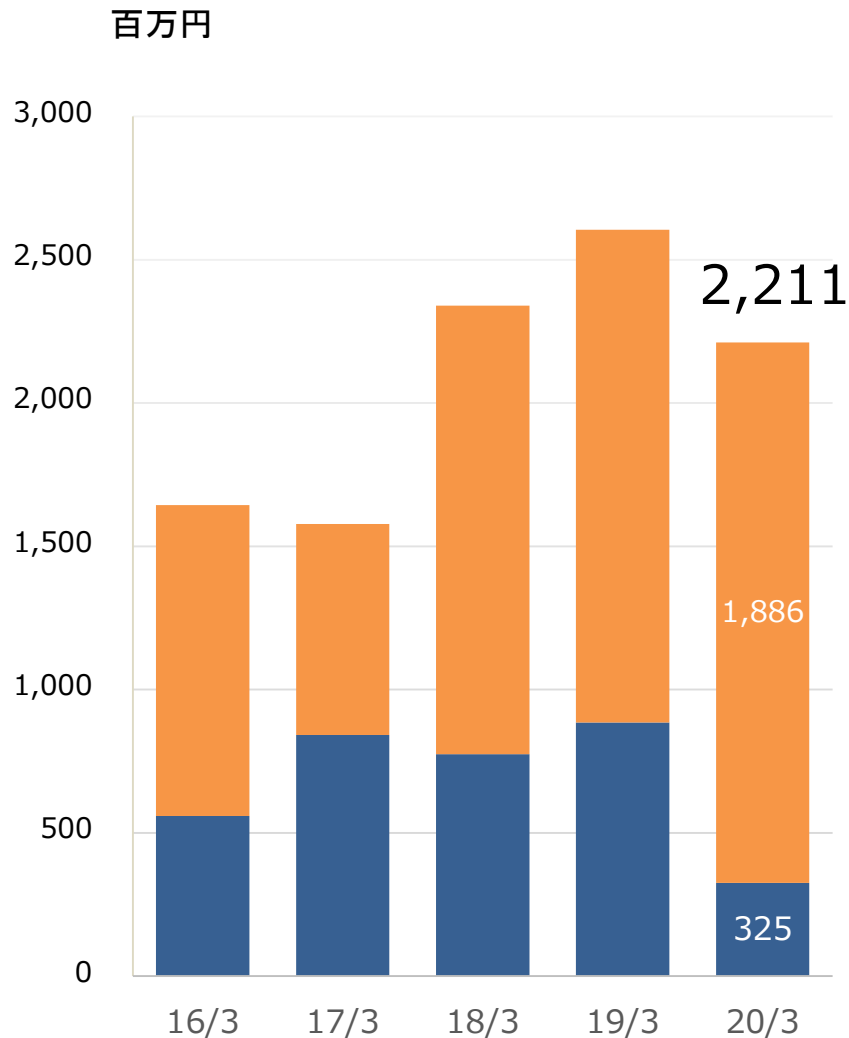
ROA(総資産経常利益率)



ROE(自己資本利益率)



各種工事売上高推移



土木分野



一面補強工法
(鉄道高架橋等の耐震補強)



カルバート構造物の
せん断補強工法



フェールセーフ対策



不感知対策工事

建築分野・その他



耐震補強工事



太陽光発電システム設置



会社概要

社名	サンコーテクノ株式会社(銘柄コード3435)
代表者	洞下 英人 (ほらげ ひでと)
本社所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16
社員数	連結583名 単体323名
資本金	768百万円
国内拠点	全国20拠点
連結子会社数	9社(海外3社含む)
設立	1964年5月
市場	東証第二部：2015年5月 (JASDAQ：2005年6月)
主要取扱品目	<ul style="list-style-type: none">■あと施工アンカーを中心とした建設用ファスニング製品■電動油圧工具および各種電動工具・試験機■耐震補強・FRP関連商材・太陽光関連商材■各種測定器および電子基板関連■プラスチック成形機・包装機器

2020年9月末現在

- 本資料はサンコーテクノ株式会社の事業及び業界動向についてのサンコーテクノ株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、公表日現在において利用可能な情報に基づいてサンコーテクノ株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

サンコーテクノ株式会社